

或問

執筆
録

編集後記

『或問』第38号をお届けします。論考10編が収められています。内容的には歴史学、言語学、文芸史と盛り沢山になっています。また千葉先生が傅蘭雅文庫（John Fryer Collection）目録の続編を寄せてくださいました。寄稿された皆さん、ありがとうございました。

38号が皆様のお手元に届く頃にはもう2021年を迎えていることでしょう。2020年は新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。「隔離」という言葉の辛さを嫌というほど思い知らされました。友人、家族を失っても何もできず唯々遙か彼方へ手を合わせるだけの空しさを忘れられません。幸い現代テクノロジーに助けられ、遠隔で授業をしたり、研究会に参加したりして一年を乗り越えることができました。2021年も劇的に状況が好転する見込みは低いでしょう。オンラインが新常态（ニューノーマル）になるかも知れません。どんな状況になってもめげずに我道を進もうとする覚悟が問われる一年になりそうです。

巻頭の人物写真は、魏源（1794-1857）と矢野龍溪（1851-1931）を使いました。魏源は『海国図志』の著者として知られ、矢野龍溪は日清戦争の後、清国特命全権公使を務めた人物で、その政治小説『経国美談』などは梁啓超の紹介もあって、広く読まれました（それぞれ荘欽永氏、周艶君氏の論考を参照）。

前号の編集後記に書いたように編集子が元気なうちはしばらく『或問』を続けたいと思います。次号は2021年6月半ば頃を締め切りとしたいと思います。皆様のご寄稿を心待ちにしております。

第38号編集担当：沈国威（2020.12.30）

執筆者一覧

- 松浦 章（関西大学）
田野村忠温（大阪大学）
荘 欽永（元新嘉坡南洋理工大学
歴史研究者）
舒 志田（立教大学）
萩原 亮（神戸市外国語大学）
李 真（北京外国語大学）
張 雨軒（北京師範大学）
周 艶君（嘉興学院）
鄒 王番（関西大学・院）
陳 旭（関西大学・院）
千葉謙悟（中央大学）

或問 第38号 2020年12月30日発行
WAKUMON No.38 (2020.12)

編集・発行：

近代東西言語文化接触研究会

代表者 内田慶市

E-mail:u_keiichi@mac.com

<http://keiuchid.sakura.ne.jp>

編集 沈 国威

E-mail:shkky@kansai-u.ac.jp

<http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~shkky/>

事務局：関西大学 文学部 内田研究室
ダイヤルイン 06-6368-3268

564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

郵便振替

口座番号：00950-4-314791

口座名称：近代東西言語文化接触研究会

印刷 遊文舎

頒価 1,500円